

京都探究ワーク 文化財



仏像の特徴をとらえよう。 解説

下の絵では、仏像の種類について、それぞれの特徴を記しています。各種類の名前について、右欄から選んで書き込もう。

仏像の種類

みょうおう によらい てんぶ ぼさつ
明王 如来 天部 菩薩

肉髻 (頭の肉が盛り上がっている)
※一種例外あり

衲衣 (のうえ) という粗末な衣だけを身にまとっている。

によらい
如来

十一面または宝冠や宝髻などの頭飾りがある。

胸飾りなどの飾りを多く身につけている。

ぼさつ
菩薩

武器を持っている。
※一種例外あり

怒りの表情をしている。
※一種例外あり

質素な身なり

みょうおう
明王

仏教成立以前にインドにいた神々が仏教に取り入れられたもので、さまざまの姿や表情を見せている。

てんぶ
天部

>>>リンク 文化庁「文化遺産オンライン」
世界遺産『古都京都の文化財(京都市、宇治市、大津市)』



京都の世界遺産について知ろう。

ユネスコ(国連教育科学文化機関)が世界的に貴重な文化や自然を守るために登録する「世界遺産」に、「古都京都の文化財(京都市、宇治市、大津市)」との登録名で神社や寺院など17件が登録されています。その世界遺産の中から、自分が興味のあるものを選び、本やインターネットで調べて解説文を作ろう。

課題のポイント 創建の歴史や建築物の特徴、仏像や絵画など所蔵する宝物、そこで起きた歴史的出来事やゆかりの人物など、自分が重要だと思うポイントをおさえて文章を作ろう。

かみがも じんじゃ 上賀茂神社 (賀茂別雷神社)
しもがも じんじゃ 下鴨神社 (賀茂御祖神社)
とう じ 東寺 (教王護国寺)
きよみず であら 清水寺 (西芳寺)
えんりやく じ 延暦寺 (鹿苑寺)
だいご じ 醍醐寺 (慈照寺)
にん な じ 仁和寺 (西本願寺)
びょうどう いん 平等院 (二条城)

(例)

<p>《名称》</p> <p style="color: red; font-size: 1.2em; font-weight: bold;">東寺</p>	<p>《解説》平安京造営の時に建てられた官寺(国立の寺院)が、のちに弘法大師空海にゆずられ、密教寺院となりました。正式名称は教王護国寺。五重塔は木造建築では日本一の高さで、1644年に徳川家光による再建されたものが今も残っています。多数の国宝建築があるほか、密教美術の宝庫で、なかでも講堂に所蔵される仏像群は「立体曼荼羅(りったいまんだら)」と呼ばれ、密教の教えを視覚的に表しています。</p>
--	---